

おもてなしの心あふれる、“可能性全開”のまちづくり

AIRA

第3次始良市観光おもてなし計画

概要版

～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～



令和6年3月
始良市

1. 計画策定の基本的考え方

計画策定の目的

始良市では、「第2次始良市観光おもてなし計画」に基づき、令和元年度以降、観光振興による交流人口の獲得、地域の活性化を目指すため、観光の持続的発展に取り組んできました。

しかし、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、インバウンド観光の大幅な減少、また、国内の観光需要も大きく減少し、地域経済に多大な影響を与えました。

本市においても、観光イベントの中止や海水浴場、キャンプ場の閉鎖などを余儀なくされました。

令和5年以降は、イベント等の通常開催が行われていますが、マイクロツーリズムの増加やアウトドア活動の需要の高まりなど観光を取り巻く環境は大きく変化しました。

このような背景の中、観光産業を取り巻く国内外の状況の変化を的確に把握し、本市の観光振興の方向性を示すため、「第3次始良市観光おもてなし計画」を策定します。

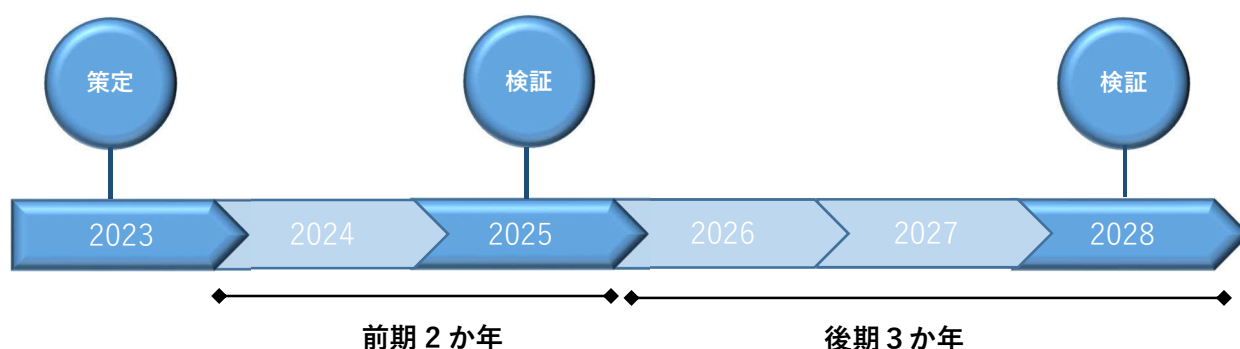
計画の位置づけ

この計画は、2019年3月策定の『第2次始良市総合計画』に沿ったものとし、基本理念である「可能性全開！ 夢と希望はぐくむまちづくり ～ひとりひとりが主役 住みよい県央都市 あいら～」の実現に向け、観光分野の短期的・中期的な個別計画として策定します。

計画の期間

計画期間は2024年度を初年度とし、長期的な展望も視野に入れた5か年を対象に前期2か年と後期3か年とし、2028年度を目標年次とします。

また、前期2か年の進捗を検証して新たな課題等を見極め、後期3か年における計画の見直しを行い、『第2次始良市総合計画』の後期基本計画との整合を図ります。



2. 始良市の観光の課題

本市の観光の現状に基づく、①観光資源、②観光環境、③情報発信・P R、④市民活動、⑤潜在的可能性の5つの視点における本市の観光の強み、弱みを踏まえ、本市の観光振興の課題を以下のとおり整理します。

① 観光資源

- 観光資源の磨き上げ
- 各観光資源をつなぐ仕掛けづくり
- 観光資源の整理とストーリー化

② 観光環境

- 鹿児島地区及び霧島地区からの誘客
- 広域交流拠点としての可能性の検討
- 外国人観光客の受入態勢の整備

③ 情報発信・P R

- 「あいら観光」のシンボル化及びブランドイメージ構築
- 観光動機を刺激する観光客の志向・ニーズに応じた情報発信
- 外国人観光客のニーズの研究および効果的な情報発信

④ 市民活動

- 市民主体の観光ガイドや都市農村交流等の積極的な利活用
- 地区コミュニティ協議会による取組の支援

⑤ 製剤的可能性

- 市内観光における時間消費に対応できる魅力づくり
- 商・農・工と観光分野との密接な連携
- 商品開発・料理開発をはじめとした地域ブランドづくり

3. 始良市の観光の目指すべき姿及び基本方針・基本施策

4つの基本方針に位置付ける基本施策として、以下の9つの施策を掲げます。

【基本理念】 おもてなしの心あふれる、“可能性全開”のまちづくり

～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～

【始良市における観光まちづくりの方向性】

①本市の知名度アップ、イメージアップを目指す

②まちのファンを増やし、定住志向を強める

③人が育ち、ネットワークを広げる

④観光消費の向上による地域経済への波及を目指す

【基本方針】

1.市の観光資源を観て、体感してもらう

2.人が活躍できるプロセスづくり

3.戦略的な情報共有と広域連携

4.観光関係事業者などの育成と連携

【基本施策】

(1) 観光メニュー・プログラムづくり

(2) 観光イベント・PRイベントの企画実施

(3) 地域資源周辺環境整備

(4) 人、組織をつなぐ体制づくり

(5) 市民、地域の取組の維持、強化

(6) 情報発信手法の多様化とメディアの活用

(7) 広域での観光連携の強化

(8) 観光関連事業者等との連携強化・育成

(9) 地域経済活性化の促進

基本方針 1

始良市の「宝物」を観て、体感してもらう

(1) 観光メニュー・プログラムづくり	① 本市の資源を生かした多様な観光メニューづくり ● 市内をめぐる観光ルートの作成 ● 歴史・自然等を生かした観光イベントの企画・実施 ● 自然体験メニュー（海、山、川、農業等）の企画・実施 ● 癒し体験、パワースポット巡りメニューの実施 ● 市内のお店巡りプランの企画・実施 ② 観光資源・施設の魅力づくり ● 国、県、市指定文化財の観光地としての整備 ● 民俗文化財の公開と活用 ● 蒲生麓地区などの歴史的な建造物やまちなみの景観保全 ● 桜島・錦江湾ジオパークの取組 ● 霧島錦江湾国立公園（重富海岸）などの観光スポットの保全 ● 日本遺産、ジオパークに関する副読本を活用した普及
(2) 観光イベント・PRイベントの企画実施	① 本市の資源を売り出す企画・イベントの実施 ● 「歩こうよ！ あいら」の継続的实施 ● eスポーツを活用したイベントの開催 ● 「始良市加治木町くも合戦」、「あいら春まつり」、「あいら市花火大会」、「日本一大楠どんと秋まつり」への継続的な支援 ● 桜島サービスエリアの情報発信拠点としての活用 ② 新たな観光素材による体験型観光の推進 ● サイクルツーリズム等体験型メニューの企画・運営 ● ニューツーリズム・着地型観光の維持・強化
(3) 地域資源周辺の環境整備	① 観光情報発信拠点の整備 ● 地域の中心となる観光施設の拠点機能の強化 ● 各種スポーツイベントやキャンプ・コンベンション等誘致促進 ● 薩摩おいどんカップ、かごしまマラソン等への支援 ● インバウンドに向けた観光対策 ② 魅力ある観光地形成のための周辺施設整備 ● 観光資源周辺における遊歩道、トイレ、駐車場等の整備、バリアフリー化の推進 ● 駅前広場への観光案内サイン等の整備

基本方針 2

市民が活躍できる仕組み・場を創る

(4)人、組織をつなぐ体制づくり	① 観光受け入れ体制づくり ● 観光関係団体の主体的活動の促進 ● 各主体の活動情報を共有する仕組みの構築 ● 観光協会の自立的活動の支援 ● 新たな観光推進組織の構築 ② 始良市の観光振興を担う人材の確保・育成 ● 地域の祭り・イベント、郷土芸能の継承 ● 観光ガイド養成講座の開催
(5)市民、地域の取組の維持、強化	① 各地域の体制強化と魅力の向上 ● 観光振興に寄与する市民活動の支援、市民と行政の協働体制の強化 ● 自治会ごとの清掃、植栽、花植え等による観光資源周辺のきれいな景観づくりの促進 ② 市民主体のおもてなしの促進 ● 観光資源管理のための市民参画組織の構築 ● おもてなし講習会の開催

基本方針 3

戦略的な情報提供と広域連携を行う

(6)情報発信手法の多様化とメディアの活用	① 情報発信・共有の仕組みづくり ● 市公式観光案内アプリ「ココシルあいら鹿児島」の活用・更新 ● 観光 DX の活用 ● HP、「市公式LINE」などSNSの活用による情報発信・活用 ● 市内外の主要施設における観光PRの強化 ● 観光地への案内誘導の工夫 ② メディアの活用による始良市のPR ● イベント情報の効果的な発信 ● 映画、テレビ番組、CM等の誘致 ● 全国の旅行雑誌、旅行会社、県内の情報誌等への売り込み強化
(7)広域での観光連携の強化	① 広域連携メニューづくり ● 錦江湾まるごと体験(国立公園、ジオパーク、サイクルツーリズム等)の企画、実施 ● JR鹿児島中央駅や鹿児島空港を起点とした観光ツアーの企画、実施 ● 島津義弘公顕彰事業の広域的な取組(三州同盟会議) ② 広域連携体制の維持、強化 ● 周辺市町との広域連携体制の強化(始良・伊佐地域観光連絡協議会、錦江湾奥会議等) ● 広域連携情報の集約、発信 ● 鹿児島県観光連盟等の関係機関・団体との連携強化

基本方針 4

観光関係事業者などの育成と連携

(8)観光関連事業者等との連携強化・育成	① 観光関連事業者等との連携強化 ● 観光協会や特産品協会、商工会等の観光関係団体の自立的活動の支援 ● 民間企業との連携 ● 公共交通機関と連携したツアー企画・実施 ② 観光関連事業者等の育成 ● 本市の特産品、お土産等を販売する店舗の育成 ● 本市の特産品や食の開発のための担い手の確保、育成のための支援 ● 観光関連事業従事者のおもてなし講座の開催 ● 観光施設管理者（指定管理者等）の意識啓発、施設の運営強化
(9)地域経済活性化の促進	● 本市の特産品の開発（6次産業化の推進） ● 有機栽培の農産品及び農家のPR・ブランド化 ● 生産者と加工業者、販売店舗、飲食店との異業種交流会の開催 ● 旅館・ホテル等の宿泊施設の誘致 ● 既存の宿泊施設の活用促進 ● 着地型観光メニューによる交流人口の増大、地域全体収入の向上

4. 始良市の観光振興の重点プロジェクト

本市の観光振興の基本理念を具現化するための4つの基本方針と、基本方針の実現に向けて9つの施策を示し具体的な取組等を定めた中で、今後5年間で、特に重点的に推進していくものを、重点プロジェクトとして位置づけます。

重点プロジェクト

- ① 多様な観光メニューづくり
- ② 観光イベントの企画、開催

重点プロジェクト1

多様な観光メニューづくり

(1) “歴史”を楽しむ観光の推進

- 市民と行政が協働して本市のストーリーを描くまちづくり
- 歴史的文化遺産の保存・活用、まちなみの景観保全や観光振興、教育の資質向上
- 若い人たちにも魅力が伝わるような観光素材の磨き上げ
- テーマ性を持ったストーリーを付けた観光メニューの展開

(2) “食”を楽しむ観光の推進	●“食”のまちをアピールするため、有機野菜の生産者や食品製造事業者との連携、産業観光への取組体制の整備 ●「煮しめグランプリ」、「始良ばあちゃんすい一つ」の取組への継続支援 ●消費者と生産地をつなげる取組、連動したツアー等の企画・検討 ●飲食・物販店との連携や特典付きの商店街ツアーなど、まちなかの歴史・文化施設と商店街の共同事業の推進。
(3) “体験”を楽しむ観光の推進	●歴史・自然・食といった魅力ある観光要素を、テーマや目的により結び、サイクルツーリズムなどの体験型観光へ推進 ●既存のニューツーリズム・着地型観光の取組の維持・支援 ●新たな観光素材の掘り起こし、魅力あるメニューの創出や他地域への取組の拡大 ●外国人観光客に人気の農業・林業体験など、本市の産業を観光化したプログラムを、地域事業者などと連携・開発 ●日帰りツアーや市民団体などによる着地型コンテンツの企画・実践によるインバウンド観光への取り組み

重点プロジェクト2

観光イベントの企画、開催

(1) 本市の資源を売り出す企画・イベントの実施	●多様な観光資源を活用した各種企画の継続・強化 ●「加治木町くも合戦」、「あいら春まつり」、「あいら市花火大会」、「日本一大楠どんと秋まつり」などの継続的な実施 ●e スポーツを活用した新たな観光イベントの企画・実施
(2) 情報発信拠点を活用した物産展等の開催	●本市観光情報の発信拠点である観光協会による「観光案内所」や「蒲生観光交流センター」等において、観光PRや特産品の販売などの取組 ●「食」に携わる市内の飲食店や事業者、団体等の多様な主体が連携する動きの継続・展開、本市の「食」のブランド開発への積極的支援

第 3 次 始 良 市 観 光 お も て な し 計 画 概 要 版

発行：始良市 企画部 商工観光課

〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町 25 番地

TEL:0995-66-3111 / FAX:0995-65-7112 / <http://www.city.aira.lg.jp/>